XL-2300G　設置ガイド

このたびは、ページプリンタ XL-2300G をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書は、ご購入されたプリンタを梱包箱から取り出し、使用できるようにするまでの設定を説明しています。
詳しくは、取扱説明書「第 1 章 お使いになる前に」～「第 4 章 プリンタドライバのインストール」をご覧ください。

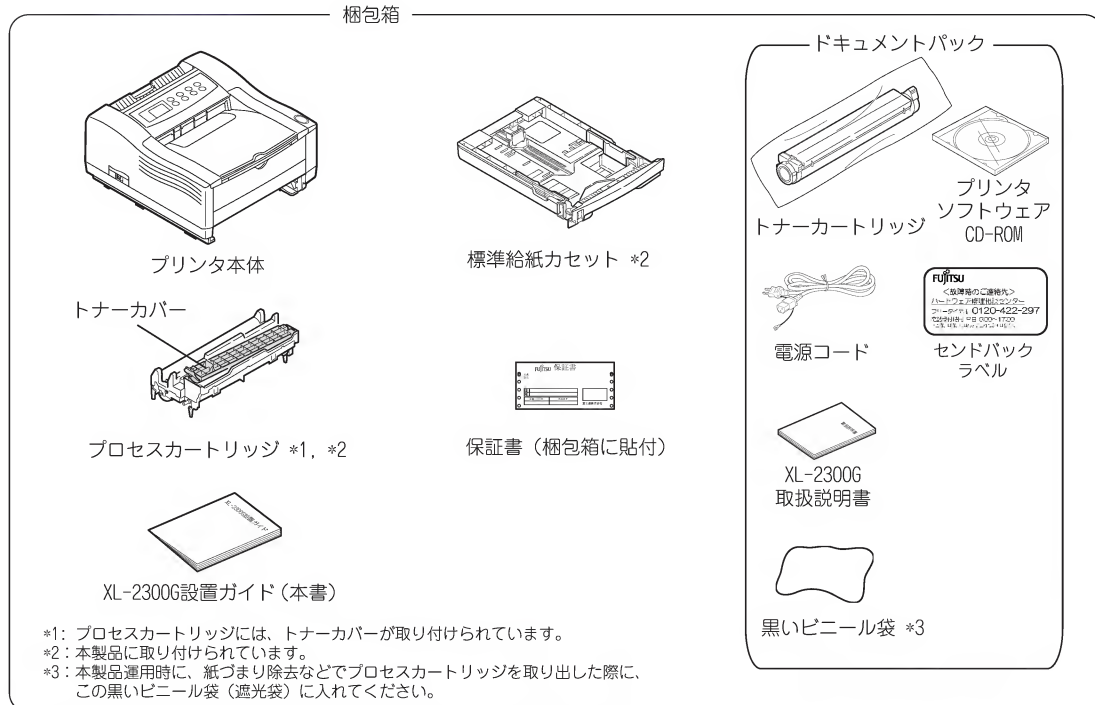
2008 年 4 月　2 版発行
富士通株式会社

製品を確認する

製品を梱包箱や袋から取り出し、すべて揃っていることを確認してください。
万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

ガイド

・プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブル、プリンタ LAN ケーブル、用紙は含まれておりません。別途、ご購入ください。
・用紙については、本製品で使用可能かどうかを、『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」で確認のうえ、ご購入ください。
・移転などでプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、緩衝材や梱包箱を保管しておいてください。

*1：プロセスカートリッジには、トナーカバーが取り付けられています。
*2：本製品に取り付けられています。
*3：本製品運用時に、紙づまり除去などでプロセスカートリッジを取り出した際に、この黒いビニール袋（遮光袋）に入れてください。

設置場所を決定する

次の点に気をつけて、プリンタの設置場所を決めてください。

◆設置に適した場所

・水平で安定した場所
・風通しがよい場所
・温度 10 ℃〜 32 ℃ 湿度 20 〜 80％RH（結露がないこと）
・最大湿球温度 25 ℃
・周囲湿度が 30％以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

◆設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・冷暖房器具に近い場所
・風が直接当たる場所
・振動がある場所
・ホコリやチリが多い場所
・火気に近い場所
・水気がある場所
・磁力の影響がある場所
・温度／湿度の変化が激しい場所
・10°以上傾斜した場所

◆電源コンセント、アースについて

1 つの電源コンセントを本製品専用にしてください。複写機やエアコンなど、消費電力の大きな機器や、電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧低下によるプリンタの誤動作、データ消失のおそれがあります。

・以下の条件を守ってください。
　交流（AC）：100V ± 10V
　電源周波数 ：50Hz または 60Hz ± 1Hz
・電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
・本製品の最大消費電力は 700W です。電源容量に充分余裕があることを確認してください。

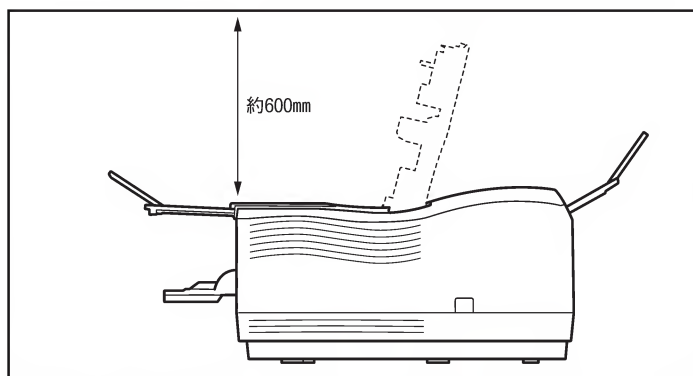
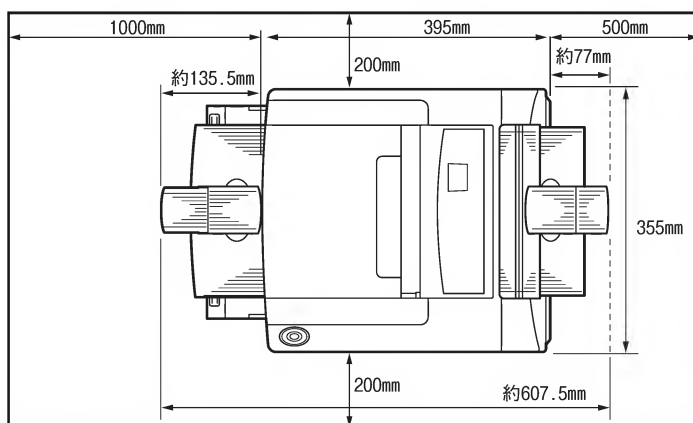
⚠ 警告

感 電
・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源は、100V、7A となっています。
・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
　- 電源コンセントのアース端子
　- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
　- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

◆超音波加湿器のご使用について

超音波加湿器に水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着してプリント画質低下の原因になります。超音波加湿器をご使用になる場合は、不純物を含まない水をご使用ください。

◆設置スペースについて

⚠ 警告	感　電	プリンタの側面および背面には通気口があります。プリンタ側面は 200mm、背面は 500mm 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 また、プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、本製品を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。 プリンタの上部には日常の操作に必要な 600mm 以上のスペースを確保してください。

プリンタ本体の設置スペース（幅×奥行×高さ）
1895 × 755 × 260mm

◆型名表示について

Windows 上の画面表示やフォルダ名、またはプリンタドライバや設定の印刷では、型名が「XL-2300」と表示されますので、あらかじめご了承ください。動作などには支障はありませんので、「XL-2300G」と読み替えていただくよう、お願いいたします。

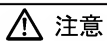
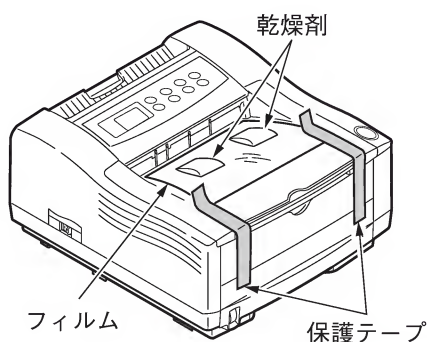
プリンタを設置する

プリンタを設置場所に移動します。
オプション品を取り付ける場合は、プリンタ本体の取扱説明書、または各オプション品の梱包箱に印刷されている設置手順に従って設置してください。

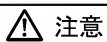
お願い

本製品の重さは、消耗品、用紙トレイを取り付けた状態で約 9kg です。プリンタを持ち上げるときは、両手でしっかりと持ってください。

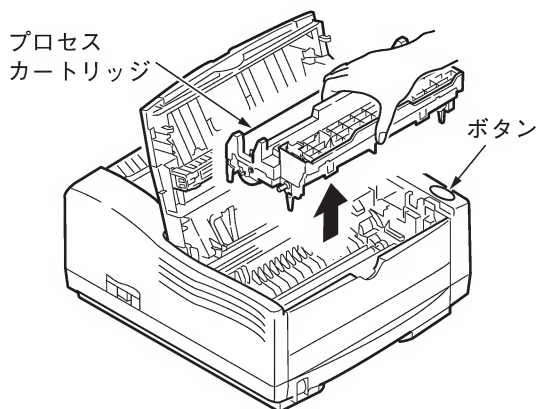
保護具を取り外す

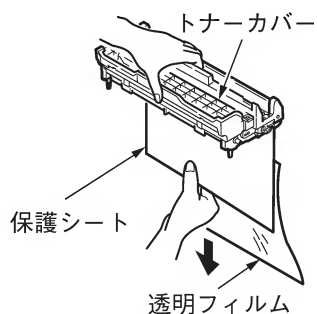
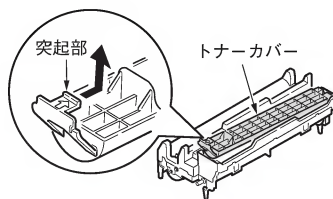
① プリンタ前部の保護テープ（2ヶ所）をはがす
乾燥剤とフィルムもいっしょに取り除きます。

⚠ 注意	故　障　　保護テープを付けたままプリンタを使用すると、故障の原因になります。

カートリッジを取り付ける

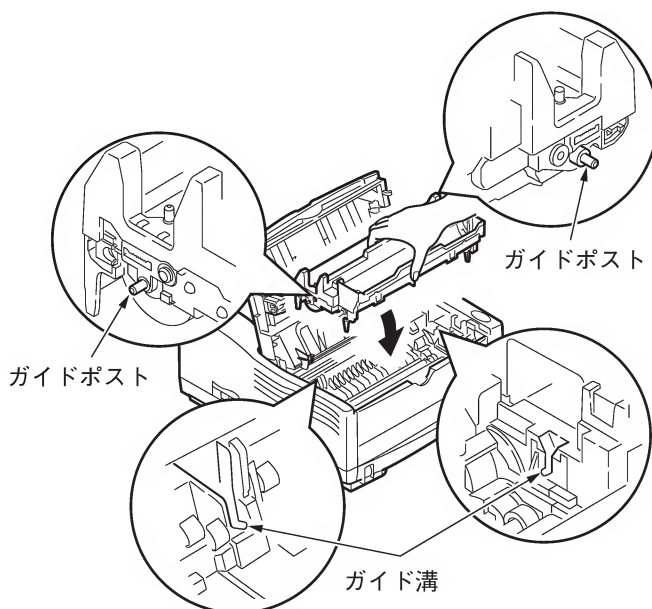
本製品は、未使用のプロセスカートリッジがプリンタ本体に取り付けられています。
本製品を使用する前に、必ずプロセスカートリッジおよびトナーカートリッジを取り出し、正しく取り付け直してください。

⚠ 注意	故　障　　電源を入れる前に必ずプロセスカートリッジの保護シートと透明フィルムを取り外してください。故障の原因になります。

① オープンボタンを押し、トップカバーを開く

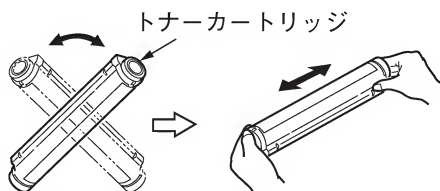
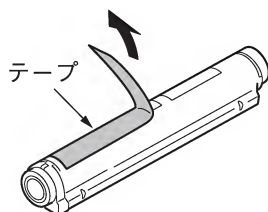
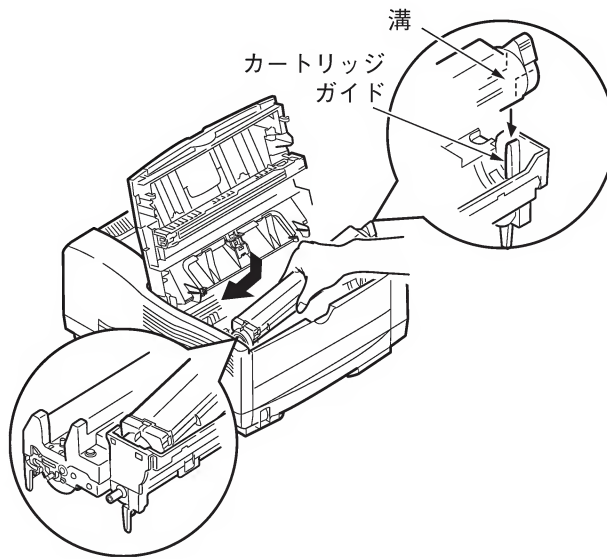
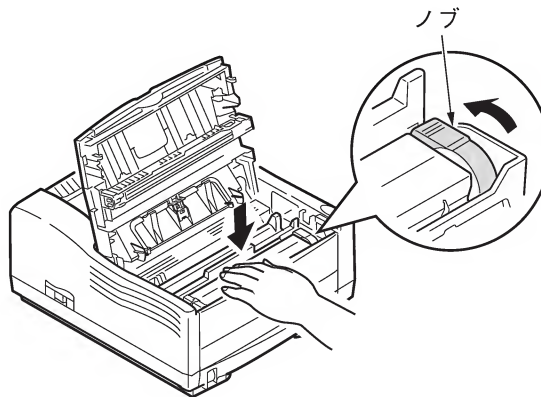
② プロセスカートリッジの手前側（トナーカバー側）を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出す

③ プロセスカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向に引き抜く

透明フィルムもいっしょに取り除きます（透明フィルムは、保護シートにテープで留めてあります）。

④ 突起部を矢印方向に押し、トナーカバーを取り外す

お願い

- トナーカバーを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上で行ってください。
- トナーカバーは不燃物として処理してください。

⑤ 左右のガイドを本体の溝に合わせ、②と逆の手順でプロセスカートリッジの前方を少し下向きにして、左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせてはめ込む。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットする

お願い

- 感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷付きやすいため絶対に手を触れないでください。
- プロセスカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。また、室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

⑥ トナーカートリッジを包装袋から取り出し、図のように縦と横に数回振る

⑦ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす

⑧ テープをはがした面を下にしてトナーカートリッジの左側のガイドをプロセスカートリッジのカートリッジ押さえの下に入れる。トナーカートリッジ右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドの突起に合わせ、水平にしっかりと押さえ込む

⑨ トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブを矢印方向に止まるまで回す

⑩ トップカバーを閉じる

用紙を選択する

用紙を選択するときは、本製品で使用可能かどうかを『XL-2300G 取扱説明書』「第６章　用紙について」で確認してください。
なお、推奨用紙については、『XL-2300G 取扱説明書』「第７章　日常のメンテナンス」「サプライ品について」をご覧ください。

用紙をセットする

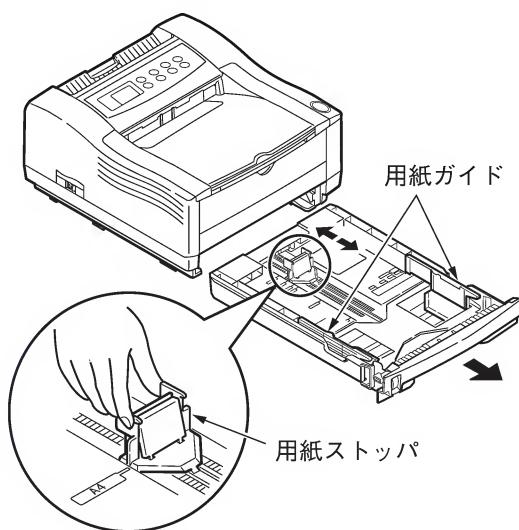
お願い

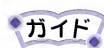
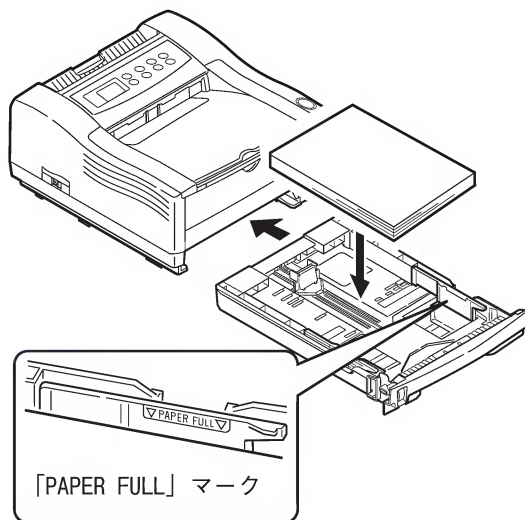
- 用紙は、印刷する面を下にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
  また、用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 指定した位置を越えて用紙をセットしないでください。
- 厚紙や、OHP フィルム、ラベル紙などの特殊紙は使えません。
- 給紙カセットを差し込むときは、あまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。

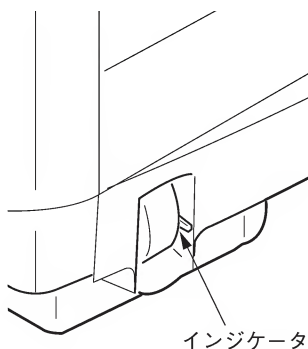
次の手順に従って、標準給紙カセットへ用紙をセットしてください。

① 給紙カセットを引き出す

② 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定する

ガイド　用紙ガイド（左右）はカチッと止まる位置にセットしてください。

③ 用紙の上下左右を揃える

④ 印刷面を下に向けて、用紙をセットする

ガイド
- 用紙は給紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします（坪量 64g/m^2 紙で約 250 枚）。
- 用紙は用紙ストッパのツメを乗り越えないようにセットします。

⑤ 給紙カセットをプリンタに戻す

ガイド
給紙カセット内の用紙量は、カセット前面にある用紙残量表示（赤）で確認することができます。インジケータが下にさがるほど用紙量が少ないことを示します。

オプション品を取り付ける

オプション品の梱包箱に印刷された設定手順、または『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「拡張給紙カセット（オプション品）に用紙をセットする」、「給紙トレイ（オプション品）に用紙をセットする」をご覧ください。

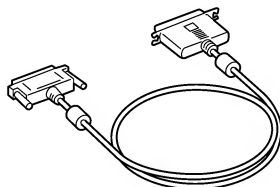
ケーブルを接続する

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルまたはプリンタ USB ケーブルを使用して、プリンタとパソコンを直接接続します。
ネットワークプリンタとして使用する場合は、プリンタ LAN ケーブルを取り付けてプリンタをネットワークに接続します。

◆ローカルプリンタとして使用する

プリンタケーブル

本製品をパソコンのパラレルインターフェースに接続して使用するためのケーブルです。

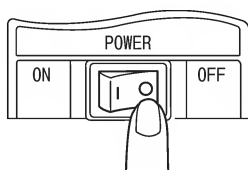
品　名	型　名	備　考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

⚠警告

感　電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

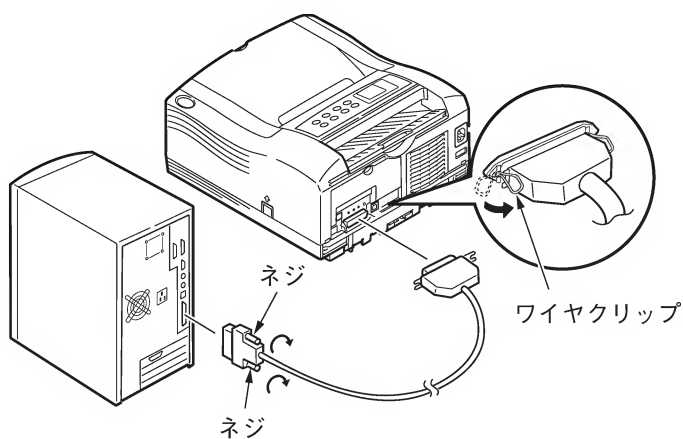
⚠注意

故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。特に接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。
誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因となることがあります。

次の手順に従って、プリンタケーブルを接続してください。

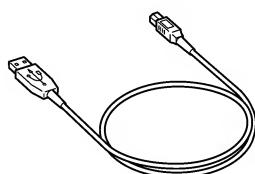
① プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する
電源スイッチが〔○〕側になっていることを確認します。

お願い

プリンタケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源を切ってください。

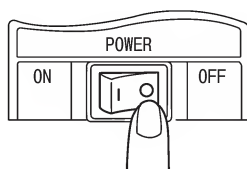
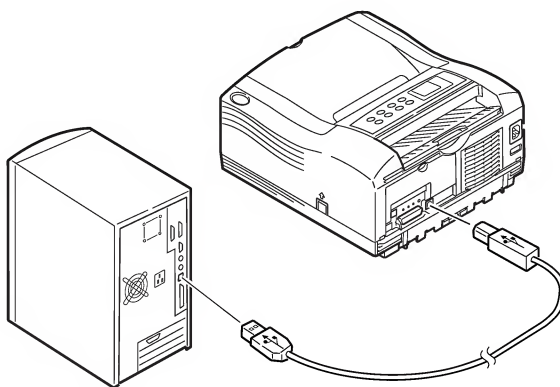
② プリンタのパラレルインターフェースのコネクタにプリンタケーブルを差し込み、コネクタ両端のワイヤクリップで固定する

③ プリンタケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンに接続する
パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

プリンタ USB ケーブル

本製品をパソコンの USB インターフェースに接続して使用するためのケーブルです。

品　名	型　名	備　考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	USB2.0 フルスピードに対応し、Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。

次の手順に従って、プリンタ USB ケーブルを接続してください。

① プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが〔○〕側に倒れていることを確認します。

② プリンタの USB インターフェースコネクタに、プリンタ USB ケーブルを接続する

③ プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンに接続する

パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

◆ネットワークプリンタとして使用する

本製品が対応している LAN インターフェースは、次のとおりです。

・100BASE-TX（FULL：全二重モード／ HALF：半二重モード）に対応
・10BASE-T（FULL：全二重モード／ HALF：半二重モード）に対応

お願い

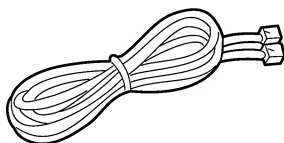
ネットワークプリンタとして使用するには、事前にオプションのプリンタ LAN カードを取り付けておく必要があります。
取り付け方法については、プリンタ LAN カード用の設置ガイド、または本製品に添付されたプリンタソフトウェア CD-ROM 内にある『XL-2300G ネットワークガイド』（NetworkGuide.pdf）を参照してください。

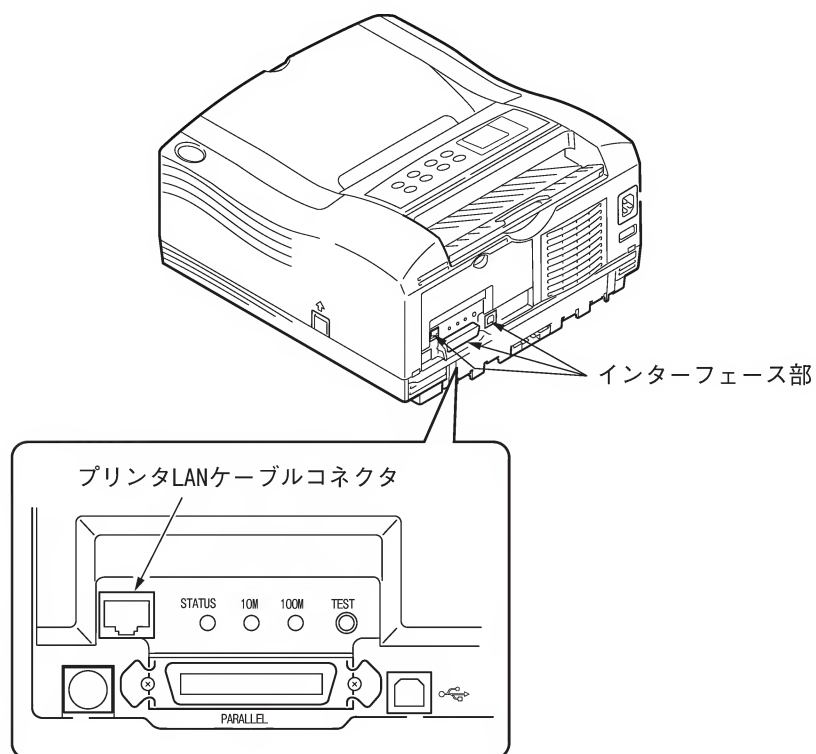
参照

本製品をネットワークプリンタとして使用する場合は、オペレータパネルを使用してネットワーク情報（IP アドレス /HUB LINK のモードなど）を設定する必要があります。
詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 1 章　ネットワークプリンタの設定」「IP アドレスを設定する」をご覧ください。

プリンタ LAN ケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを用意してください。

ガイド

100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5、またはエンハンスドカテゴリー 5 のケーブルが必要です。

⚠ 警告	感　電	作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

① プリンタ本体背面のプリンタLANケーブルコネクタに、プリンタLANケーブルを接続する

電源を入れる

⚠ 警告	感 電	・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源は、100V、7A となっています。 ・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 - 電源コンセントのアース端子 - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの - 接地工事（D 種）を行っている接地端子

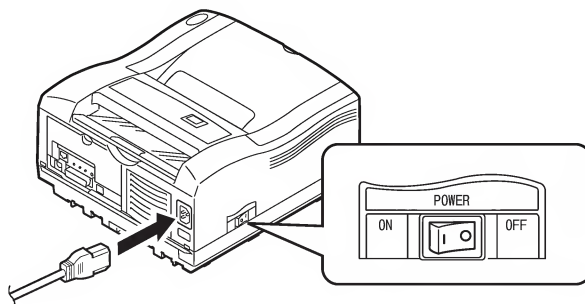
⚠ 注意	故 障	電源を入れる前に必ずプロセスカートリッジの保護シートと透明フィルムを取り外してください。故障の原因になります。

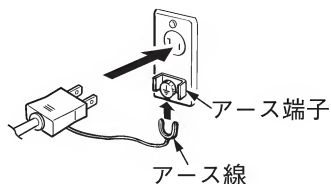
次の手順に従って、電源を入れてください。

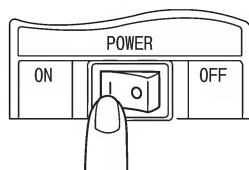
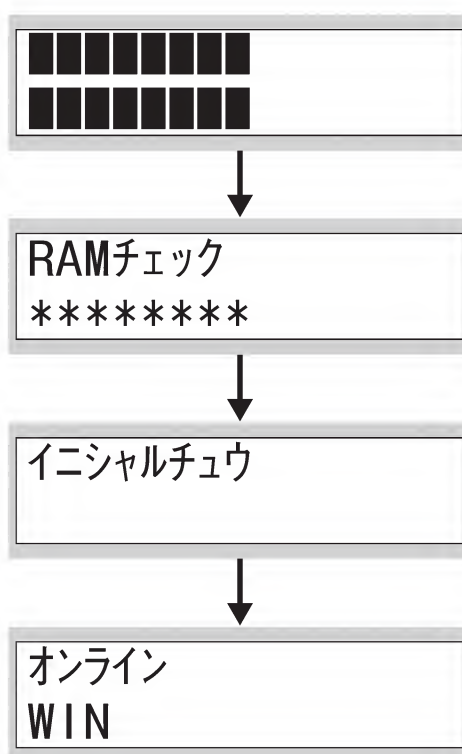
---

① 電源コードをプリンタ本体背面にある電源コードコネクタに差し込む

電源が切れていることを確認してから作業してください。

---

② 電源プラグをコンセントに差し込む

コンセントにアースが付いている場合は、アースも接続します。

③ プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔｜〕側を押す

電源が入ります。

④ オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン　WIN〕に変わることを確認する

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、『XL-2300G 取扱説明書』「第 10 章 こんなときには」「メッセージが表示されるとき」をご覧ください。

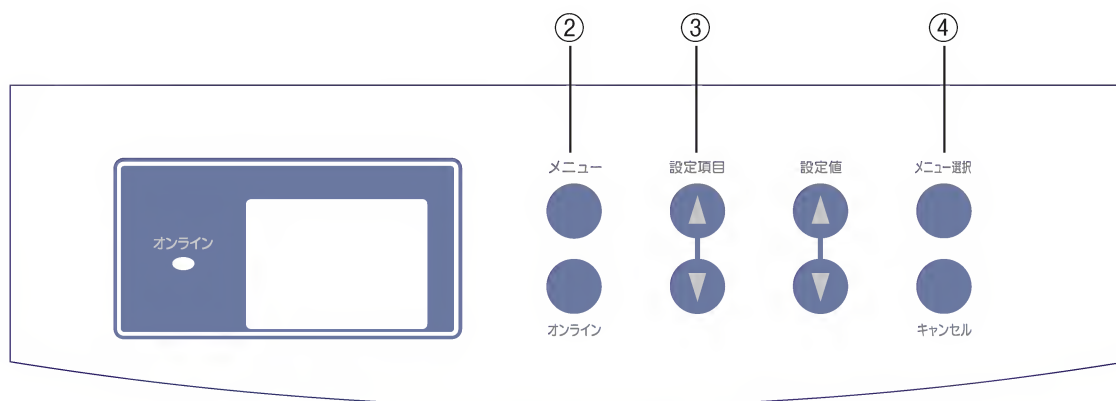
プリンタの設定内容を確認する

プリンタが正しく設置されたかどうかを確認するために、プリンタの設定内容一覧を印刷します。

① 標準給紙カセットに A4 サイズの用紙をセットする

②〔メニュー〕スイッチを押す
〔インフォメニュー〕と表示されます。

③〔設定項目▲〕スイッチを押す
〔セッテイナイヨウインサツ〕と表示されます。

④〔メニュー選択〕スイッチを押す
設定内容の印刷が開始されます。

ガイド 設定内容の一覧が印刷されない場合は、電源を切り、電源を入れ直してください。オペレータパネルの液晶ディスプレイに〔オンライン〕と表示されたら、再度設定内容一覧の印刷を指示します。それでも印刷されない場合は、ご購入元または『XL-2300G 取扱説明書』に記載されている「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

Network Information

System Information

Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

設定内容　XL-2300

Printer Asset Number.
CU version　F0 02 [100. 99 S2 4 1v4 B01. 01f PPC4D5PS 266MHz 005 FF845520 FF84551C FF8426D8 F32]
PU version · 00 02. 03 [P102. 08]
WIN Program version　01. 61
Total Memory Size . 16 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
LCD.T1

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	無効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦

メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	WIN モード
アラーム解除	ジョブ
エラー自動解除	オフ
タイムアウト印刷	20 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン

テキストモードメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8 5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF

セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効

USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
シリアルナンバ	有効

NETWORK MENU	
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	10 171. 138 222
SUBNET MASK	255. 255. 255　D
GATEWAY ADDRESS	10 171. 138　1
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動

システム補正メニュー	
X 補正	0 00 ミリメートル
Y 補正	0 00 ミリメートル

メンテナンスメニュー	
パワーセーブ機能	有効
セッティング	0
印刷濃度	0

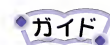
寿命メニュー	
総印刷枚数	0 枚
ドラムユニット	残り 100 %
トナー残量	あり

プリンタの環境を設定する

『XL-2300G 取扱説明書』「第 3 章 外部との接続」、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 1 章 ネットワークプリンタの設定」をご覧になり、必要な設定を行ってください。
環境設定が終了したら『XL-2300G 取扱説明書』「第 4 章 プリンタドライバのインストール」をご覧になり、各クライアントにプリンタドライバをインストールしてください。

プリンタドライバで設定する

オプション品を取り付けた場合は、プリンタを使用するパソコンで、プリンタドライバの設定を変更してください。

ガイド

・プリンタドライバのインストールが済んでいない場合は、まずプリンタドライバをインストールしてください。
・パソコンの OS によって、手順が異なる場合があります。各プリンタドライバでの設定手順は、『XL-2300G 取扱説明書』をご覧ください。
・Windows NT4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合、オプション品の設定をするときには、管理者権限でログオンしてください。

(例)Windows 98 用プリンタドライバの場合

---

①〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順にクリックする
〔プリンタ〕ウィンドウが開きます。

---

② XL-2300 のプリンタアイコンを選択する

---

③〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕をクリックし、表示されたダイアログボックスの〔用紙〕タブをクリックする

---

④〔給紙オプション〕をクリックし、対象オプションのチェックボックスをオンにする
対象オプション： 拡張給紙ユニット
MPF（給紙トレイ）

---

⑤〔OK〕をクリックする
これで、プリンタドライバで行うオプション品の設定は終了です。

この作業が終了すると、本製品を使用できる状態になります。

用紙に関するご注意

本製品に適さない用紙を使用すると、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となります。用紙を確認のうえ、ご使用ください。

参照 用紙が本製品に適しているかどうかは、以下の各項目をご覧ください。

- 普通紙：　『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「普通紙」
- ラベル紙：　『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「ラベル紙」
- 厚紙：　『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「厚紙」
- OHP フィルム：　『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「OHP フィルム」
- はがき：　『XL-2300G 取扱説明書』「第 6 章　用紙について」「はがき」

本製品に適さない用紙を使用すると、次の問題が発生します。

- ラベル紙を使用できないトレイ 1 またはトレイ 2 から給紙すると、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルがはがれて給紙ローラに貼り付き、取れなくなる場合があります。
- 厚紙を使用できないトレイ 1 またはトレイ 2 から給紙すると、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことによりローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙ができなくなり故障の原因となります。
- 本製品に適さないラベル紙を MPF（給紙トレイ）または手差しから給紙すると、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルがはがれて給紙ローラに貼り付き、取れなくなる場合があります。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

B5WY-A026-02-00